**S6-003** 会場：C311 時間：6 月 8 日　10:00-10:15

# 海域での広帯域地震観測

## Broad band seismic observation in the ocean

**# 塩原　肇[1]，篠原　雅尚[2]，金沢　敏彦[3]，望月　将志[2]，荒木　英一郎[4]，末広　潔[5]**

# Hajime Shiobara[1], Masanao Shinohara[2], Toshihiko Kanazawa[3], Masashi Mochizuki[4], Eiichiro Araki[5], Kiyoshi Suyehiro[5]

**[1] 東大・地震研・海半球センター，[2] 東大・地震研，[3] 地震研，[4] JAMSTEC，[5] 海技セ**

[1] OHRC, ERI, Univ. Tokyo, [2] ERI, Univ. Tokyo, [3] ERI, Tokyo Univ, [4] ERI, Univ. of Tokyo, [5] JAMSTEC

**海半球ネットワーク計画において重要な役割を担う、海域での地震観測網を構築するため、2 種類の海底広帯域地震観測システムを開発しその運用を開始した。その 1 つは深海底の掘削孔に設置する孔内観測点で、三陸沖・北西太平洋海盆・西フィリピン海盆に 4 点が設置されている。海底孔内に設置することで、海面変動に起因する雑音から逃れ、陸上の低雑音な観測点と同等の記録が得られることが期待できる。もう 1 つは機動的広帯域観測システムで、上記システムを補完し集中観測を行うものである。これまで開発してきた信頼性の高い自己浮上型海底地震計を元にしている。北西太平洋で 2 回の長期設置を行い、のべ 12 ヶ月分のデータを得ている。**